

平成30年度 学校生活相談センターの相談状況について(2月末現在)

心の支援課

◆件数・回数の同期比較◆

	前年度 H30年度(～2月末)		本年度 H30年度(～2月末)	
相談件数	650件	→	717件	(67件増)
延べ回数	944回	→	1234回	(290回増)

1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	306	42.7%	490	39.7%
	夜間・休日	331	46.2%	551	44.7%
文書 (メール・FAX・手紙)	80	11.1%	177	14.3%	
来所	0	0.0%	16	1.3%	
計	717	100.0%	1234	100.0%	

・前年度同期と比較すると、昼間・夜間ともに増加傾向にあり、相談件数は17.5%、述べ回数は39.2%増加している。

・来所相談は、基本的に電話での予約確認から始まるケースがほとんどであるため、今年度は延べ回数のみ16件となっている。

2 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
相談者から連携希望があった案件	51	7.1%	97	7.9%
傾聴を主とした案件	666	92.9%	1137	92.1%
計	717	100.0%	1234	100.0%

主な連携先

小中学校	…	39件	私学振興課	…	0件
県立高校	…	26件	こども・家庭課	…	0件
県教育委員会他課	…	10件	児童相談所	…	0件
教育事務所	…	13件	子ども支援センター	…	0件
市町村教育委員会	…	6件			

3 月別相談件数

区分	件数	割合	延べ回数	割合
4月	52	7.2%	75	6.1%
5月	79	11.0%	109	8.8%
6月	73	10.2%	123	10.0%
7月	79	11.0%	141	11.4%
8月	65	9.1%	116	9.4%
9月	63	8.8%	113	9.2%
10月	81	11.3%	136	11.0%
11月	63	8.8%	112	9.1%
12月	52	7.2%	93	7.5%
1月	40	5.6%	91	7.4%
2月	70	9.8%	125	10.1%
3月	0	0.0%	0	0.0%
計	717	100.0%	1234	100.0%

4 相談者の状況

(1) 主訴(相談者全体)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに関する事 いじめ・嫌がらせ	88	12.3%	115	9.3%
	77	10.7%	128	10.4%
	146	20.4%	251	20.4%
学校・教師に関する事	232	32.4%	409	33.1%
家庭・私生活に関する事	77	10.7%	201	16.3%
意見・問い合わせ	66	9.2%	78	6.3%
その他	31	4.3%	52	4.2%
計	717	100.0%	1234	100.0%

(2) 主訴(子どものみ)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子どもに関する事 いじめ・嫌がらせ	30	11.8%	38	9.1%
	7	2.7%	14	3.3%
	99	39.0%	182	43.3%
学校・教師に関する事	49	19.3%	87	20.7%
家庭・私生活に関する事	33	13.0%	49	11.7%
意見・問い合わせ	16	6.3%	18	4.3%
その他	20	7.9%	32	7.6%
計	254	100.0%	420	100.0%

(3) 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	254	35.4%	420	34.0%
本人	254	35.4%	420	34.0%
本人以外の子ども	0	0.0%	0	0.0%
大人	451	62.9%	802	65.0%
父	64	8.9%	87	7.1%
母	331	46.2%	638	51.7%
祖父	5	0.7%	6	0.5%
祖母	17	2.4%	25	2.0%
その他の大人	34	4.7%	46	3.7%
不明	12	1.7%	12	1.0%
計	717	100.0%	1234	100.0%

・関係機関に連携した案件は、学校・教師の対応についての案件が目立つ。
 ・前年度同期と比べ、大人からの相談が増加傾向にあり、特に延べ回数の割合は、6.8%増加していることから、相談が継続する傾向も高いことが窺える。

5 相談対象者の状況

(1) 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	307	42.8%	572	46.35%
女	350	48.8%	586	47.49%
不明	60	8.4%	76	6.16%
計	717	100.0%	1234	100.0%

(2) 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	9	1.3%	9	0.7%
小学生(低学年)	62	8.6%	104	8.4%
小学生(高学年)	104	14.5%	193	15.6%
中学生	198	27.6%	353	28.6%
高校生	266	37.1%	481	39.0%
その他	33	4.6%	39	3.2%
不明	45	6.3%	55	4.5%
計	717	100.0%	1234	100.0%

(3) 学校の所在地域

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
北信	176	24.5%	447	36.2%
東信	59	8.2%	86	7.0%
中信	84	11.7%	149	12.1%
南信	69	9.6%	161	13.1%
その他	3	0.4%	3	0.2%
不明	326	45.5%	388	31.4%
計	717	100.0%	1234	100.0%

・前年度同期と比べ、相談対象者の男女比はほぼ変わらない。また、相談対象者が男子の場合の方が、やや継続しやすい傾向があることも同じである。

・本年度は、相談対象者に占める高校生の割合が増加傾向にある。(相談件数+6.5%、延べ回数+6.5%)

2月メモ

・依然前年度を上回るペースで相談件数、延べ回数ともに増え続け、2月は2か月ぶりに延べ回数が3桁となった。特に夜間・休日相談に児童・生徒本人が入電する案件が多かった。すでに相談件数、延べ回数ともに前年度3月末の件数を超えている。

・2月は、いじめ・嫌がらせや学校・教師の対応について、父親が入電する案件が目立った。また、未就学児の保護者からの相談や、大学生からの相談など、イレギュラーな相談も比較的多かった。

・2月は、連携した案件が23件と、10月、11月の24件に次いで多かった。年度末までに何とか肯定的な見通しを持ちたいという相談者の強い思いも感じられる。